



a room story

部屋にまつわる物語

October – November 2024

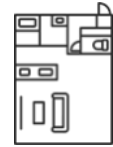
こんな本



読んでみて

a room story

部屋にまつわる物語



『菊池亜希子のおじゃまします』

『仕事場探訪20人』

著 者 / 菊池亜希子

出版社 / 集英社

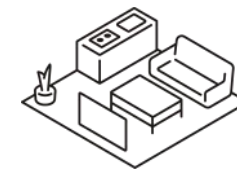
出版年 / 2014年

請求記号 / 366.29||Ki 24

ドキドキしながらドアをノックするようにページをめくって20人の仕事場を訪れてみましょう。部屋から仕事への向き合い方や人柄が見えてきます。菊池亜希子さんが描く間取りイラストがかわいくて楽しい一冊です。

もし困っていたら図書館スタッフに声をかけてくださいね。

目 次	
a room story	1
Book design の世界 vol.39	10
ちょこちょこ日記 #49	12



『物件探偵』

著 者／乾くるみ
出版社／新潮社
出版年／2017年
請求記号／913.6|| 59

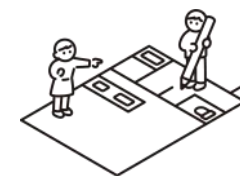
「部屋が泣いています」物件の気持ちが分かるという不動尊子が、6つの物件にまつわる謎に迫る連作短編集です。各章のはじめに舞台となる物件の広告が掲載されているのがポイント。ストーリーを楽しみながら不動産についても知ることができます。



『間取りと妄想』

著 者／大竹昭子
出版社／亜紀書房
出版年／2017年
請求記号／913.6||0 69

13の間取り図から広がる短編小説集です。シュールで静謐な空間が広がります。読み終わってから各短編に添えられた間取り図を見返すとただの図ではなくなっているのを感じます。



『新版 名作マンガの間取り』

著 者 / 影山明仁

出版社 / SBクリエイティブ

出版年 / 2015年

請求記号 / 726.101||Ka 18

「サザエさん」「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」など、マンガやアニメに登場する住まいの間取り図を設計士が描いた一冊です。自分の中のイメージと比較するのもおもしろく、マンガの世界をより楽しむことができます。



『テレビドラマの間取り』

監修者 / 荒川淳彦

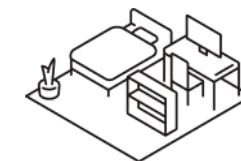
編 者 / 立東舎

出版社 / 立東舎

出版年 / 2021年

請求記号 / 778.8||R 48

これまで数多くのドラマを手掛けた空間美術デザイナーの荒川淳彦さんが監修の一冊です。ドラマ18作品の手書きの間取り図が掲載されていて、このようにドラマの世界観が作られているんだと感動します。ドラマの空間にも注目したくなります。



『10年間飲みかけの
午後の紅茶に別れを告げたい
部屋をめぐる空想譚』

著 者／岡田悠
出版社／河出書房新社
出版年／2021年
請求記号／914.6||0 38

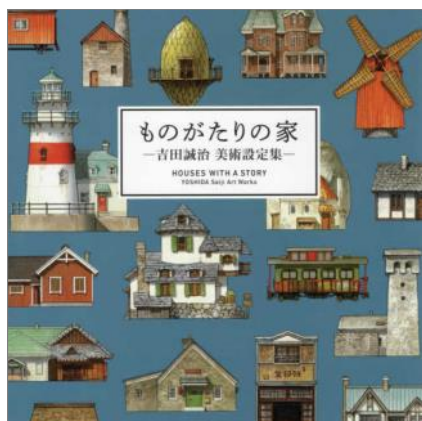
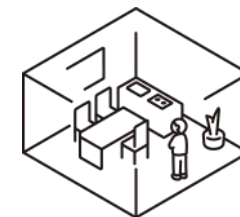
ペットボトル、取扱説明書、入浴剤…。部屋にある何気ないモノを独特の視点で綴ったエッセイ集です。部屋で過ごす日常の中に豊かな世界を見つけることができの一冊です。



『おしゃべりな部屋』

著 者／川村元気, 近藤麻理恵
出版社／中央公論新社
出版年／2022年
請求記号／913.6||Ka 95

依頼された家の“片づけ”を手伝う仕事をしている橙木ミコには、部屋にあるモノの声が聞こえてしまうという秘密があって…。7つの部屋にまつわるすこし不思議な物語。



『ものがたりの家 吉田誠治美術設定集』

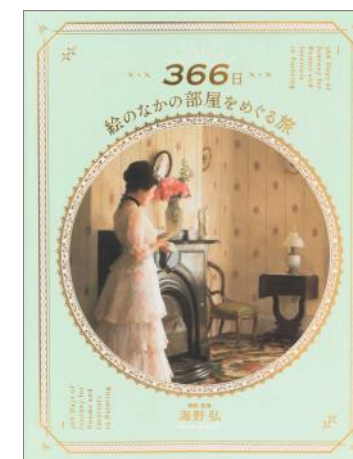
著 者 / 吉田誠治

出版社 / パイインターナショナル

出版年 / 2020年

請求記号 / 726.5||Y 86

ゲームの背景グラフィックを数多く手掛ける著者が物語に登場するような個性的な家を描いた美術設定集です。一つの部屋から物語の世界が広がっていくようです。想像することの楽しさを感じられる一冊です。



『366日 絵のなかの部屋をめぐる旅』

著 者 / 海野弘 (解説・監修)

出版社 / パイインターナショナル

出版年 / 2021年

請求記号 / 723||U 76

美しい部屋の情景を描いた「室内画」を楽しめる贅沢な一冊です。フェルメール、マティスなど巨匠たちの名画から知られざる名作まで366作品が紹介されています。絵の中の部屋から、そこにある暮らしや人生を感じることができます。

Book design

の世界

vol.39

岩瀬 聡さん

(岩瀬デザインプロダクト)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第39回目は、岩瀬聡さんです。

今回は、グラフィックデザイナー・岩瀬聡さんの装丁をご紹介します。岩瀬聡さんは、中垣デザイン事務所勤務を経て、1993年に岩瀬デザインプロダクトを設立されました。出版物のデザインを中心に数多くのデザインを手がけられています。



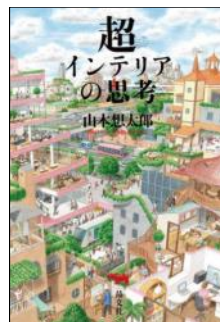
装丁：岩瀬聡
イラスト：龍神貴之

はじめにご紹介する『陸王』(池井戸潤著／集英社／2016年／913.6|| 33) は、老舗の足袋業者「こはぜ屋」がランニングシューズの開発へ挑む物語です。ランニングシューズのパッケージをイメージさせるようなデザインです。見返しや扉には透け感のあるざらざらした用紙が使われ、まるで足袋の生地を手をしているかのような触り心地が楽しく、指先からもストーリーへ誘われる装丁になっています。



装幀・グラフィック：岩瀬聡
挿画：3rdeye

『半沢直樹 アルルカンと道化師』(池井戸潤著／講談社／2020年／913.6|| 33) は、人気の「半沢直樹」シリーズ5作目、絵画に隠された秘められた謎に迫る作品です。こちらはチェック模様の用紙が見返しと扉に使われており、ミステリアスさと気品が感じられる装丁です。



挿画：青山邦彦
装丁：岩瀬聡

『超インテリアの思考』(山本想太郎著／晶文社／2023年／520.4|| Y 31) は、住環境にまつわる素朴な疑問から生活空間や都市について考える一冊です。街の様子が緻密に書き込まれた装画が使われています。じっくり眺めながら、住環境について考えを深めたいくなる装丁です。

『もううちへかえりましょう』(穂村弘著／小学館／2010年／914.6|| H 84) は、歌人・穂村弘さんの独特な視点が堪能できるエッセイ集です。カプセルホテルに佇む穂村さんのカバー写真からは、静けさとユーモアが感じられます。穂村さんの豊かな感性が伝わってくるようなデザインです。



カバー写真：小林キユウ
カバーデザイン：岩瀬聡



装丁：岩瀬聡
装画：NAKAKI PANTZ

最後にご紹介する『リスペクト』(ブレイディみかこ著／筑摩書房／2023年／913.6|| B 71) は、2014年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説です。カバーには魅力的な登場人物の姿が描かれています。作品の持つ強いパワーが伝わってくる装丁です。

岩瀬聡さんの装丁は、思わず手に取りたくなり、本の魅力がしっかりと伝わってくるものばかりでした。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

参考：岩瀬デザインプロダクトホームページ <https://www.iwasedesign.com/>



ちょこちょこ日記 #49 「クラフトフェス」

附属図書館では、毎年後期に図書館キャンペーンを行っています。
2024年のテーマは「クラフトフェス@ライブラリー」です。
手作りの楽しさを通じて図書館を身近に感じてもらえるように様々なイベントを企画しています。

イベント① クラフトワークショップ

かんたんに楽しく作れるデコパージュバッグ・モールドール・ドライフラワーミニアレンジ。一緒に手作りを楽しんでみませんか？

イベント② ハンドメイド作品展

雑貨・アクセサリ・イラスト・写真など自分で作った作品を図書館に飾ってみませんか？

イベント③ 本の貸出スタンプカード

スタンプの数に応じて図書館ボランティア部イメージキャラクター「ライブラリアン」オリジナルグッズをプレゼントします。

くわしくは図書館ホームページをご覧ください。

たくさんのご参加をお待ちしています！



次号 No.110 は、2024年12月発行予定です。

こんな本読んでみて No.109

2024年10月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>